

家畜衛生だより

平成24年9月 第8号
東部家畜防疫獣医師会
東部家畜防疫運営協議会
(社)千葉県畜産協会
東部家畜保健衛生所
TEL: 0475(52)4101
FAX: 0475(52)3335
<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/kaho/toubu/index.html>

◎鳥インフルエンザのシーズンに備えて 発生予防のため、 今一度衛生管理の徹底を!!

☆野鳥・野生動物との接触防止

- ・防鳥ネットの点検・整備
- ・ねずみの駆除対策の実施
- ・鶏舎屋根・外壁破損部の補修

☆農場内へのウイルスの侵入防止

- ・衛生管理区域へ出入りする際は専用の作業衣・長靴を使用
- ・農場出入口での消毒の徹底
- ・飼養家きんの導入元・移動先の情報把握
- ・定期的な飼槽・飲水場の清掃
- ・消石灰等による畜舎周辺の消毒

☆健康観察を行い、異常があれば家畜保健衛生所に連絡 (死亡数が明らかに増えた場合※はただちに家保へ連絡)

※死亡数が明らかに増えた場合とは同一鶏舎内の1日死亡率が過去3週間の平均死亡率の2倍以上となった場合。

・メキシコで高病原性鳥インフルエンザが続発しています。

発生日:2012年8月13日、20日

発生地:ハリスコ州サン・イグナシオ・セロ・ゴールド、テパティラン

血清型:H7N3型

飼養羽数:1,090,260羽

症例数: 86,569羽、死亡数:86,567羽、淘汰数:477,930羽



東部家畜保健衛生所 TEL 0475-52-4101
FAX 0475-52-3335

※休日、夜間時は転送されますので
必ず5回以上のコールをお願いします。

・中国で高病原性鳥インフルエンザが発生しています。

発生日: **2012年9月11日**

発生地: 広東省湛江市

血清型: H5N1型

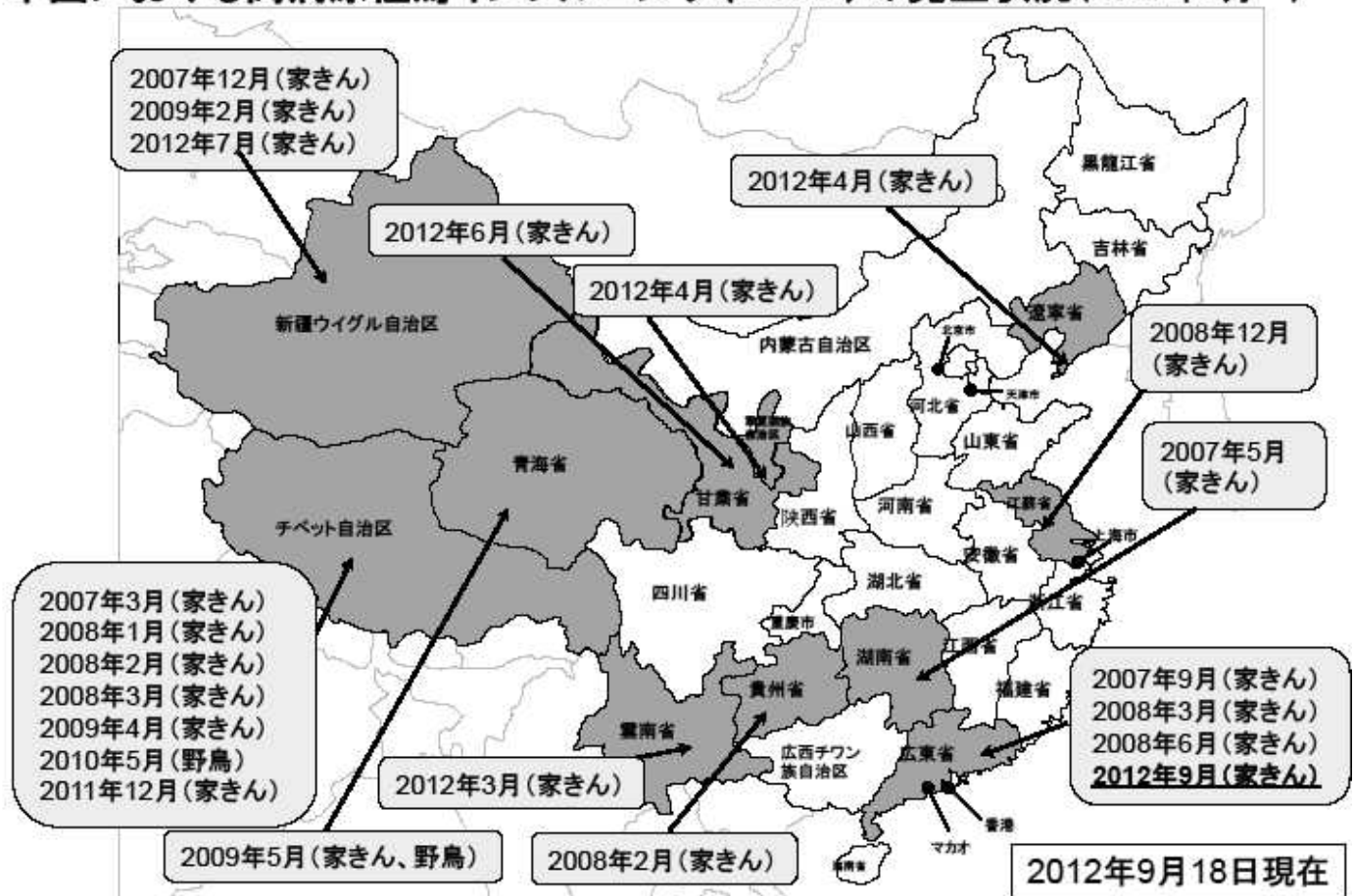
飼養羽数: 73,800羽

症例数: 14,050羽、死亡数: 6,300羽、淘汰数: 67,500羽

※ワクチン接種は実施しない



中国における高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)の発生状況(2007年1月~)



※更新点: 広東省における高病原性H5N1の発生(感染確認日: 2012年9月18日)

※出典: OIE他

東部家畜保健衛生所 TEL 0475-52-4101
FAX 0475-52-3335

※休日、夜間時は転送されますので
必ず5回以上のコールをお願いします。

高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2010年以降)

《ヨーロッパ》

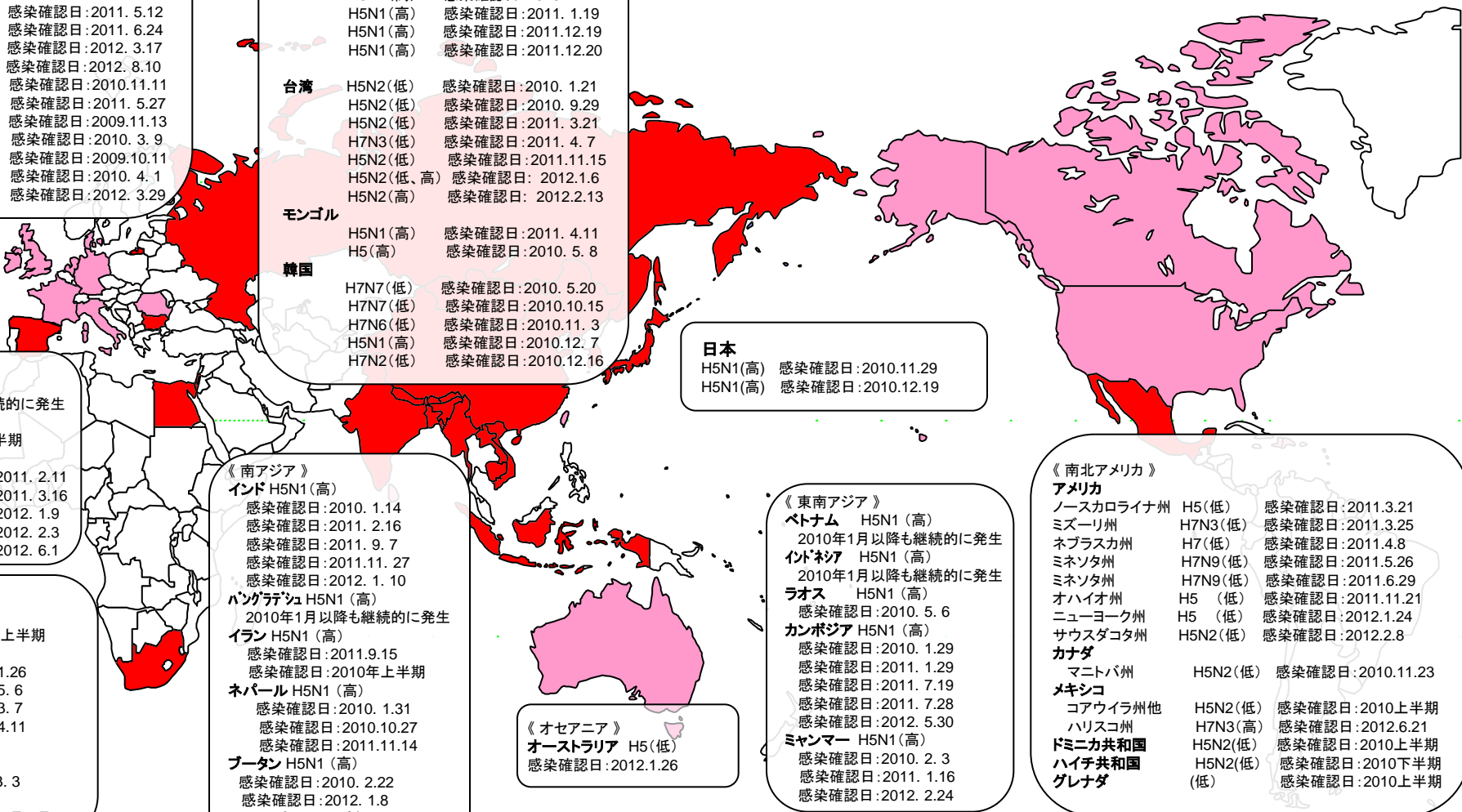
英国	H5(低)	感染確認日:2010. 5.18
ノッティンガムシャー州		感染確認日:2010. 7.28
ノース・ヨークシャー州		感染確認日:2009.10.28
ロシア	H5N1(高)	感染確認日:2010. 6.11
イタリア	H7N3(低)	感染確認日:2010上半期
	H5N2(低)	感染確認日:2010上半期
	その他(低)	感染確認日:2010上半期
ルーマニア	H5N3(低)	感染確認日:2010.11.10
	H5N1(高)	感染確認日:2010. 3.15
オランダ	H7(低)	感染確認日:2010. 5.16
	H7N1(低)	感染確認日:2011. 3.22
	H7N7(低)	感染確認日:2011. 5.12
	H7N7(低)	感染確認日:2011. 6.24
	H5N2(低)	感染確認日:2012. 3.17
	H7N7(低)	感染確認日:2012. 8.10
ドイツ	H5N2(低)	感染確認日:2010.11.11
	H7N7(低)	感染確認日:2011. 5.27
フランス	H5N3(低)	感染確認日:2009.11.13
デンマーク	H7N1(低)	感染確認日:2010. 3. 9
スペイン	H7N7(高)	感染確認日:2009.10.11
ブルガリア	H5N1(高)	感染確認日:2010. 4. 1
アイルランド	H5N2(低)	感染確認日:2012. 3.29

《東アジア》

中国	H5N1(高)	感染確認日:2010. 6. 3
	H5N1(高)	感染確認日:2011.12.12
	H5N1(高)	感染確認日:2012.9.18
香港	H5N1(高)	感染確認日:2010. 3.29
	H5N1(高)	感染確認日:2010.12.21
	H5N1(高)	感染確認日:2011. 1.19
	H5N1(高)	感染確認日:2011.12.19
	H5N1(高)	感染確認日:2011.12.20
台湾	H5N2(低)	感染確認日:2010. 1.21
	H5N2(低)	感染確認日:2010. 9.29
	H5N2(低)	感染確認日:2011. 3.21
	H7N3(低)	感染確認日:2011. 4. 7
	H5N2(低)	感染確認日:2011.11.15
	H5N2(低、高)	感染確認日:2012.1.6
	H5N2(高)	感染確認日:2012.2.13
モンゴル	H5N1(高)	感染確認日:2011. 4.11
	H5(高)	感染確認日:2010. 5. 8
韓国	H7N7(低)	感染確認日:2010. 5.20
	H7N7(低)	感染確認日:2010.10.15
	H7N6(低)	感染確認日:2010.11. 3
	H5N1(高)	感染確認日:2010.12. 7
	H7N2(低)	感染確認日:2010.12.16

高病原性発生地域 =
 低病原性発生地域 =

※1 ()は病原性
 ※2 高病原性・低病原性併発地域は高病原性と表記



《アフリカ》

エジプト	H5N1(高)	2010年1月以降も継続的に発生
セーシェル	(低)	感染確認日:2010上半期
南アフリカ共和国	H5N2(高)	感染確認日:2011. 2.11
	H5N2(高)	感染確認日:2011. 3.16
	H7N1(高)	感染確認日:2012. 1.9
	H5N2(低)	感染確認日:2012. 2.3
	H7N1(低)	感染確認日:2012. 6.1

《西アジア》

イラク	(低)	感染確認日:2010年上半期
イスラエル	H5N1(高)	感染確認日:2010. 1.26
		感染確認日:2010. 5. 6
		感染確認日:2011. 3. 7
		感染確認日:2011. 4.11
パレスチナ自治区	H5N1(高)	感染確認日:2011. 3. 3
	(低)	感染確認日:2010年2月,7月

《南アジア》

インド	H5N1(高)	感染確認日:2010. 1.14
		感染確認日:2011. 2.16
		感染確認日:2011. 9. 7
		感染確認日:2011.11. 27
		感染確認日:2012. 1. 10
バングラデシュ	H5N1(高)	2010年1月以降も継続的に発生
イラン	H5N1(高)	感染確認日:2011.9.15
		感染確認日:2010年上半期
ネパール	H5N1(高)	感染確認日:2010. 1.31
		感染確認日:2010.10.27
		感染確認日:2011.11.14
ブータン	H5N1(高)	感染確認日:2010. 2.22
		感染確認日:2012. 1. 8
スリランカ	H5N2(低)	感染確認日:2012. 2.2

日本

H5N1(高)	感染確認日:2010.11.29
H5N1(高)	感染確認日:2010.12.19

《東南アジア》

ベトナム	H5N1(高)	2010年1月以降も継続的に発生
インドネシア	H5N1(高)	2010年1月以降も継続的に発生
ラオス	H5N1(高)	感染確認日:2010. 5. 6
カンボジア	H5N1(高)	感染確認日:2010. 1.29
		感染確認日:2011. 1.29
		感染確認日:2011. 7.19
		感染確認日:2011. 7.28
		感染確認日:2012. 5.30
ミャンマー	H5N1(高)	感染確認日:2010. 2. 3
		感染確認日:2011. 1.16
		感染確認日:2012. 2.24

《南北アメリカ》

アメリカ		
ノースカロライナ州	H5(低)	感染確認日:2011.3.21
ミズーリ州	H7N3(低)	感染確認日:2011.3.25
ネブラスカ州	H7(低)	感染確認日:2011.4.8
ミネソタ州	H7N9(低)	感染確認日:2011.5.26
ミネソタ州	H7N9(低)	感染確認日:2011.6.29
オハイオ州	H5(低)	感染確認日:2011.11.21
ニューヨーク州	H5(低)	感染確認日:2012.1.24
サウスダコタ州	H5N2(低)	感染確認日:2012.2.8
カナダ		
マニトバ州	H5N2(低)	感染確認日:2010.11.23
メキシコ		
コアウイラ州他	H5N2(低)	感染確認日:2010上半期
ハリスコ州	H7N3(高)	感染確認日:2012.6.21
ドミニカ共和国	H5N2(低)	感染確認日:2010上半期
ハイチ共和国	H5N2(低)	感染確認日:2010下半期
グレナダ	(低)	感染確認日:2010上半期

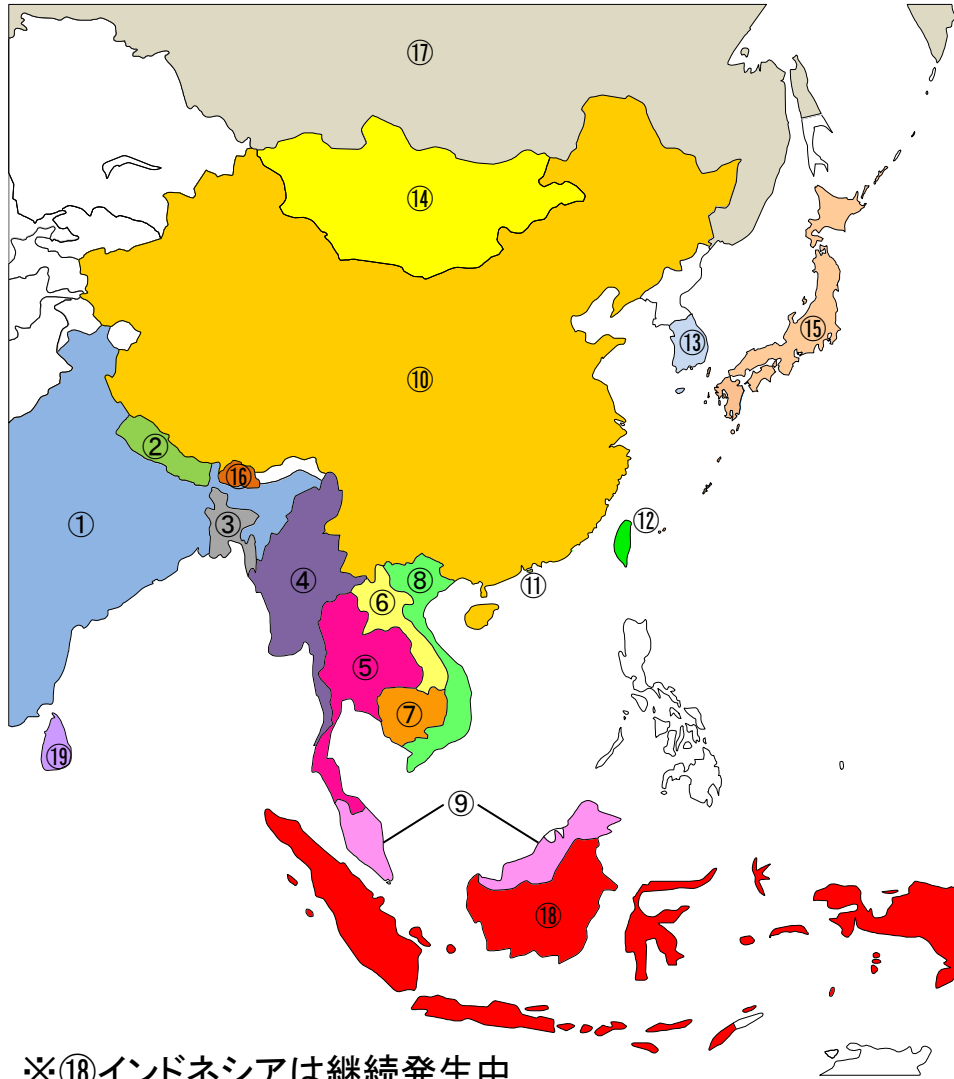
《オセアニア》

オーストラリア	H5(低)	感染確認日:2012.1.26
---------	-------	-----------------

2012年9月18日現在

※1 更新点: 中国における高病原性H5N1の発生(2012年9月18日)
 ※2 本図は発生の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していない(例: 日本は2011年6月25日より清浄性を回復)

アジアにおける高病原性及び低病原性 鳥インフルエンザの発生状況



出典: OIE WAHID 他

2012年9月18日現在

	① インド	② ネパール	③ バングラデシュ	④ ミャンマー	⑤ タイ	⑥ ラオス	⑦ カンボジア	⑧ ベトナム	⑨ マレーシア	⑩ 中国	⑪ 香港	⑫ 台湾	⑬ 韓国	⑭ モンゴル	⑮ 日本	⑯ ブータン	⑰ ロシア	⑱ スリランカ
2011年	1月		●	●			●	●			▲		●		▲			
	2月	●	●	●				●			●		●		▲			
	3月	●	●	●				●			●	●	●		▲			
	4月		●					●					●	▲				
	5月		●					●				●						
	6月		●										●					
	7月						▲	●										
	8月	●	●				●	●										
	9月	●	●															
	10月	▲						●										
	11月		●	●			●					●	●			▲		
	12月			●							●	▲					●	
2012年	1月	●	▲	●	●			●			▲		●			●		●
	2月	●	●	●	●			●			▲	●	●		▲	●		
	3月	●	●	●	●					●	▲	●	●			●		
	4月	●	●							●	▲	●	●					
	5月						●					●						
	6月									●	▲							
	7月							●		●								
	8月							●										
	9月							●		●								

(発生日、検体回収日に基づく)

家きん● 野鳥▲ (赤: 高病原性鳥インフルエンザ、黒: 低病原性鳥インフルエンザ)

※野鳥の低病原性鳥インフルエンザについては確認可能な日本のみ記載